
TOKYO FM「ap bank radio! THE LAST WAVE」発のエコキャンペーン TOKYO FM 系列全国 38 局の FM 局で アルミ付き紙パックの回収・リサイクル活動第2弾を実施

TOKYO FMをはじめとするJFN(全国FM放送協議会)38局で放送中の番組「ap bank radio! THE LAST WAVE」(毎週土曜日 22:00~22:55 放送)では、アルミ付き紙パックの回収・リサイクル活動を、日本テトラパック株式会社と全国の再生紙会社の協力により、JFN加盟の全国38局のFM局にて、今年の6月より実施しています。

この活動では、ゴミとして捨てられることが多いアルミ付き紙パック(内側が銀色)が、リサイクル技術の発展によりリサイクルが可能になった事実を、番組を通じて訴求すると同時に、回収ボックスをJFN加盟の全国38局のFM局に設置し、リスナーからアルミ付き紙パックを回収しています。

番組では、この活動をさらに広めていくため、10月より新しい回収方法「ap bank radio!・テトラパックリサイクル便」をスタートします。これは、使用済みのアルミ付き紙パックを、専用WEBサイトから申し込むと送られてくる専用封筒に入れて、クロネコメール取扱店に持っていくと、送料無料で再生紙工場に送られる、という仕組みです。より多くのリスナーに気軽にこのリサイクル活動に参加してもらうことを目的としています。

現状、スーパーや自治体で回収しているのは牛乳パックが多く、この種のアルミ付き紙パックのリサイクルはあまり知られていませんが、このキャンペーンでは、6月から8月末までの間に、全国のリスナーの協力により、58.2キロのアルミ付き紙パックが回収されました。この回収量をパルプ量に換算すると、トイレットペーパー(シングル60m)220個分に相当します。また、58.2キロのリサイクルは約58.2キロのCO2削減につながります(バイオマス由来のCO2は除く)。

「地球最後の日」を考えるエコプログラム「ap bank radio! THE LAST WAVE」では、引き続き、このアルミ付き紙パックの回収活動の積極的な推進をはじめ、エコ活動の重要性を少しでも多くのリスナーに身近に感じてもらうべく、今後も様々な情報やムーブメントを発信していく予定です。

≪「ap bank radio! THE LAST WAVE」放送概要≫

小林武史氏と櫻井和寿氏らが発起し地球環境のための融資機関「ap bank」とTFMが提案する、地球環境メッセージの新たなトライアル。ファンタジードラマ、音楽、最新の環境討論会などを通して、地球環境への意識を、楽しくかつシリアスに共鳴させていくエコロジープログラムです。

(番組HP <http://www.tfm.co.jp/apradio/>)

- 放送時間 : 土曜日 22:00~22:55 TOKYO FMをはじめとするJFN系全国38局ネット
- 放送形式 : 収録
- パーソナリティ : GAKU-MC (アシスタント:東野翠れん)